

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立中央聴覚支援学校
取り組む課題	生徒の自立を支える教育の充実
評価指標	・ 支援学校における児童・生徒、保護者の学校満足度の向上 ・ 支援学校における地域連携と外部への情報の発信
計画名	「つながろう みんなと 飛び出そう、社会へ」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>子どもたちの学ぶ力の育成とキャリア形成をはかり、変革する社会で生き抜く力を育む。</p> <p>（1）将来の自己実現をめざし、早期から一貫したキャリア教育に取り組み、自主性・社会性を育むとともに、自らの学びを他校や地域社会へ情報発信する力を育む。児童生徒アンケートで「他校や地域との交流や発表が楽しい、世界が広がった」の肯定率を令和6年度までに80%にする。</p> <p>（2）「わかる授業づくり」を進め、基礎学力の定着を図るとともに、知的好奇心を刺激し、子どもたちの学びへの意欲の向上を図る。児童生徒・保護者アンケートで、「見てわかる授業の満足度」の肯定率を令和6年度までに85%にする。[R3 75%]</p>
事業目標	<p>聴覚支援学校では、授業や行事等において、子どもたちの聴覚障がいの状態に応じた視覚的な情報保障が重要である。本校では、手話での説明に加え、ICT機器の活用により、文字、音声、画像を統合的に発信し、子どもたちの個々のニーズに合わせて情報を獲得している。（文字情報システムによる緊急時放送や、電子黒板やタブレット端末等を活用した授業・HR活動等）</p> <p>そうした中、遠隔コミュニケーションロボットやオンラインを活用することにより、さまざまな進路実態を知り、自らの将来像を描きやすくし、日々の学習意欲の向上につなげたい。また、固定化された学校内だけの活動にとどまらず、オンラインやロボットを通じて他校との交流を深化させる。さらに、オンラインによる合同授業を実施し、初めて関わる子ども達とテーマを決めた意見交流をすることで視野を広げ、物事を多面的、多角的に捉える力を伸ばすとともに、自らの学びを地域社会に情報発信する力を育む。</p> <ol style="list-style-type: none">ICT機器の活用や視覚支援を充実させ、「見てわかる授業」を展開することで、児童・生徒の言語力を高め、表現を豊かにしたり、論理的思考力を高めたりする。遠隔コミュニケーションロボットを活用し、卒業生の活動に触れたり、さまざまな職場体験を行ったりすることで、自己の将来像を描きやすくし、キャリア発達を支援する。継続的してきた学校間交流を発展させ、オンライン等を活用しながら、多くの人と意見交換を行う合同授業を実施し、SDGsなどテーマを持った活動に共に取り組み、幅広い仲間とつながる。同世代のみの交流にとどまらず、自らの学びを地域や社会に発信し、校内外を越えた豊かなコミュニティを形成する。
整備した 設備・物品	電子黒板機能付き超単焦点プロジェクタ（壁取付式）、電子黒板 kubi テレプレゼンスロボット、液晶ペンタブレット、ペイントソフト、マグネット式スクリーン、160インチスクリーン
取組みの	・ プロジェクトチーム

主担・実施者	<p>首席、情報教育部長、進路サポート部長、各学部主事、有志 ・実施者 学部でのまとまりを基本し、学年や学部の子どもたちの活動に関わる全ての教職員。</p>
本年度の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各学部の授業で電子黒板機能付き超単焦点プロジェクタ（壁取付式）、電子黒板を活用し、わかりやすい授業づくりに努めた。調べ学習や合同学習での学びを、プレゼンテーション資料化や映像化し、HP や行事等で発信した。 （全学部）インターネットを活用して、学校間交流、企業見学を行った。 （中学部）総合的な学習の時間に情報機器を駆使して SDGs についての調べ学習に取り組み、スライド等にまとめて文化祭で発表することができた。府の聴覚支援学校とあるテーマに基づいて、意見を交換するオンライン合同授業を行った。 ・聴覚支援学校とテーマを決めた合同授業を行い、意見交換の場を広げることができた。 （中学部・高等部）他学部に出向いて、幼児・児童の発達段階に応じた説明や掲示を工夫して調べたことを伝えた。また全校朝礼において、自分たちが取り組んでいること（協力をお願いしたこと）や、調べてまとめたことを発表する場をもった。 ・新しく導入した ICT 機器の整備、整理を行った。 ・教職員の電子黒板、単焦点プロジェクタを用いた授業研究、教職員同士で ICT を使った授業を振り返るリフレクションの討議会を設けた。（テーマは、「ICT と板書（カードなどの文字提示）の使い方」「聴覚障がいをもつ子どもにとってわかりやすい授業とは」等） ・児童生徒への授業アンケートの分析と情報共有、学校教育自己診断の分析と情報共有を行った。 ・プロジェクトチーム 1 年めの検証、改善に向けての検討、活用方法の収集を行った。
成果の検証方法と評価指標	<p>学校教育自己診断、授業アンケートより</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童・生徒記入、保護者記入の「見てわかる授業の満足度」の肯定率を 78%以上とする。（現 75%） ② 教職員「ICT 機器活用力」の肯定率を 70%以上とする。（現 62%） ③ 児童・生徒「交流が楽しい、世界が広がった」の肯定率を 70%とする。（新たなアンケート）近隣の学校園と合同授業を行うなど、学校間交流を充実させる。。
自己評価	<p>学校教育自己診断、授業アンケート</p> <ol style="list-style-type: none"> ①児童生徒記入、保護者記入の「見てわかる授業の満足度」の肯定率を 78%以上とする。→80%の回答を得られた。…………… (○) ②教職員「ICT 機器活用力」の肯定率を 70%以上とする。 →78%の回答を得られた。…………… (○) ③児童生徒「交流が楽しい、世界が広がった」の肯定率を 70%とする。 →80%の回答を得られた。…………… (○) <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT やオンライン合同学習、交流についてはももとの基盤があったため、電子黒板機能付き超単焦点プロジェクタ（壁取付式）、電子黒板等の活用はスムーズに進んだ。 ・各学部で、児童生徒たちの力を発揮できる場、発信する場を増やそうという意識が高まった。 ・遠隔コミュニケーションロボットについては、アプリの許可等の手続きに時間がかかり、年度内に外部との交流、やりとりで使うことはかなわなかった。しかし教職員間にロボットの存在や使い方のイメージが広がっているので、次年度はキャリアに関する講話やオンライン交流会で積極的な活用を進めていく。
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔コミュニケーションロボットを利用し、いろいろな職業の人の話を聴く。また実際の職場の様子を見てリアルに体験する。 ・遠隔コミュニケーションロボットやオンラインの活用により、SDGs や学校安全活動などのテーマを決めた交流学習や発表を行う。交流校を広げる。

- ・SDGs 講師、企業講師の招聘
- ・SDGs に関する地域的な取組み（児童生徒の制作物などを HP に掲載）
- ・教職員向け ICT 活用方法の研修（8 月）
- ・児童生徒への授業アンケートの分析と情報共有（7、12 月）学校教育自己診断の分析と情報共有（12 月）
- ・各学部の教員による授業研究と情報共有（12 月）
- ・プロジェクトチーム 2 年めの検証、改善に向けての検討、活用方法の収集（3 月）

3. 事業費報告

今年度事業費総額	3,637,160	円
----------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1				
	2				
	3				
				小計	0
2 旅費	1				
	2				
	3				
				小計	0
3 消耗需用費	1	マグネットスクリーン	¥16,364	1	¥16,364
	2	CLIP STUDIO PAINT PRO	¥8,987	1	¥8,987
	3	PowerDirector20UltimateSuite	¥14,553	1	¥14,553
	4	WacomOne液晶ペンタブレット16型	¥64,240	2	¥128,480
	5	プリンストン KUBI PLUS	¥92,290	2	¥184,580
	6	HSMIケーブル、収納ボックス	¥35,236	1	¥35,236
				小計	¥388,200
4 維持需用費	1				
	2				
	3				
				小計	0
5 役員費	1				
	2				
	3				
				小計	0
6 委託料	1				
	2				
	3				
				小計	0
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
	3				
				小計	0
8 備品購入費	1	電動スクリーンSEP-200WN-TWW3（工事費含む）	¥561,000	1	¥561,000
	2	電子黒板機能付き単焦点プロジェクター（工事費含む）	¥207,262	7	¥1,450,834
	3	電子黒板機能付き単焦点プロジェクター（工事費含む）（追加1台）	¥220,242	1	¥220,242
	4	体育館天井吊り短焦点プロジェクター	¥1,016,884	1	¥1,016,884
				小計	¥3,248,960
9 工事請負費	1				
	2				
	3				
				小計	0
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
	3				
				小計	0
				合計	¥3,637,160